



女たちの連帯でジェンダー平等の社会をつくろう！

国際女性デーのつどい

コロナ危機をのりこえ、安心して生きられるしくみへ変えよう！

3/8 (月) 18:30~エルおおさか709号室 参加費700円
(京阪、地下鉄谷町線天満橋下車)



JR 茨木駅前、森の女性蔑視、差別発言に抗議する「憲法いかそう茨木市民の会」と OPEN

森喜朗の女性蔑視、差別発言に抗議！
首のすげ替えで終わらせず、ジェンダー平等を広げましょう！
女性が参加しないコロナ対策は必ず失敗する！

森喜朗前オリパラ組織委員長の女性蔑視、差別発言は許すことはできません。社会でのジェンダー差別意識構造が浮き彫りにされました。私たちは強い憤りをもち抗議します。

政府の無為無策により、まだまだ続く新型コロナ感染拡大は、ジェンダー差別を浮き彫りにし、女性たちの生活を直撃しました。多くの女性労働者、なかでも非正規労働者が雇い止めや解雇により職を失いました。福祉・介護・医療労働者、いわゆるエッセンシャルワーカーは女性が多く環境面や待遇面で、とても厳しい状況にあります。また、子どもの休校や在宅勤務により家事・育児の負担が増え、女性たちはたいへん疲弊しています。女性が安心して生きられるしくみへ転換していくことが必要なのです。竹信三恵子さんといっしょに考えましょう。どうぞ、多数ご参加ください。

講演 「女性を直撃したコロナ災害—どう切り拓くのか」

講師 竹信三恵子さん

ジャーナリスト・和光大学名誉教授 「女性労働問題研究会」代表

NPO 法人「官製ワーキングプア研究会」理事なども務める。著書『ルポ雇用劣化不況』（岩波新書：日本労働ペンクラブ賞受賞）/『家事労働ハラスメント』（岩波新書）/『10代から考える生き方選び』（岩波ジュニア新書）/『官製ワーキングプアの女性たち』（岩波ブックレット、共著）など

ズーム視聴希望の方は、2月末までに 3.8wwdj@gmail.com に申し込んで下さい。ズーム参加費500円の振り込みの確認後メールを送ります。郵貯 00950-0-270884 (OPEN:平和と平等を拓く女たちの絆)

主催 3.8 国際女性デーのつどい実行委員会

OPEN (平和と平等を拓く女たちの絆)：憲法いかそう茨木市民の会：ZENKO (平和と民主主義をめざす全国交歓会)：なかもユニオン：フィリピンAKAYプロジェクトをともに創る会：RAWA (アフガニスタン女性革命協会) と連帯する会